
 Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ 

Title	Effects of Statin Versus the Combination of Ezetimibe plus Statin on Serum Lipid Absorption Markers in Patients with Acute Coronary Syndrome
Author(s)	渡辺, 絵梨沙
Journal	2015
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/31130">http://hdl.handle.net/10470/31130</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 591 号	氏 名	渡 辺 絵 梨 沙
審 査 委 員 会	主 査 教 授	萩 原 誠 久	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>急性冠症候群(ACS)患者において、標準的スタチン治療に、コレステロール吸収抑制薬のエゼチミブを併用することが LDL-C およびコレステロール吸収マーカーにどのような影響を与えるかを検討した。ACS の診断で入院し、薬物治療の有無に関わらず入院時 LDL-C が 100mg/dl 以上であった 197 人を対象にし、ピタバスタチンのみを投与する標準的治療群(P 群)とピタバスタチンにエゼチミブを追加する積極的治療群(P+E 群)の 2 群に無作為割付を行い、LDL-C、コレステロール吸収マーカー(シトステロール、カンペステロール)、コレステロール合成マーカーとしてラソステロールを測定し、検討した。LDL-コレステロールの低下率は、P 群は-37%に対して、P+E 群は-52%であった。シトステロール、カンペステロールは、P+E 群においてのみ有意な低下を認めたが、ラソステロールは両群間で有意差を認めなかった。LDL-コレステロール管理目標値 100mg/dL 未満の達成率は、P 群で 81%、P+E 群で 92%であった。さらに、LDL70mg/dL 未満達成群と非達成群では、非達成群の治療前のコレステロール吸収マーカーが有意に高値であった。したがって、ACS 患者では、スタチン療法にエゼチミブを併用することにより、LDL-コレステロールの更なる低下作用、およびコレステロール吸収マーカーの有意な低下を認めた。コレステロール吸収マーカーが高い群では、エゼチミブ併用が有効である可能性が示唆された。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			